

ATシリーズ

AT-11	(900×1800mm	質量 8.4kg)
AT-12	(900×1200mm	質量 5.7kg)
AT-13	(600×900mm	質量 3.1kg)
AT-14	(450×600mm	質量 1.3kg)
AT-14K	(450×600mm	質量 1.3kg)
AT-14YK	(450×600mm	質量 1.3kg)
AT-12SY	(900×1200mm	質量 5.7kg)
AT-13SY	(600×900mm	質量 3.1kg)
AT-315K	(450×900mm	質量 2.2kg)

[販売元] 日学株式会社
東京都品川区大井1-49-15 アクセス大井町ビル5F
TEL 03-6429-2515

このたびは、壁掛ホワイトボード ATシリーズをお買い上げいただき
まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、お読みになった後は、大切に保管してください。
製品をほかの方に貸す、あるいは譲渡されるときには、
必ずこの取扱説明書をいっしょにお渡しください。

⚠ 安全上のご注意

- 取り付けしたホワイトボードを持ち上げたりすると、吊り具などが受ネジよりはずれることがあります。
落下・破損の原因となりますのでご注意ください。
- 屋外や水の多くかかる場所での使用は避けてください。
- 吊り具は小さなお子さまが誤って口に入れたり、飲み込んだりする恐れがありますので、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
- ボード表面にビスなどで重い物を取り付けることは避けてください。落下の原因となります。
- 乱暴な取り扱いや用途以外の使用は避けてください。故障や破損、事故の原因となります。
- 商品の分解、改造は絶対にしないでください。故障や事故の原因となります。
- この商品を第三者に貸すときは、取り扱い方法を十分に説明し、この取扱説明書をいっしょにお渡しください。

⚠ 使用上のご注意

- 油性マーカー、ペイントマーカーなどで書くと消せなくなりますので、絶対に使用しないでください。
記入の際は、必ずホワイトボード用マーカーをご使用ください。
- 直射日光および熱器具の熱は、変色・変形の原因となりますので避けてください。
- 画びょう、くぎ、ボールペンなど金属で傷をつけると修復できなくなりますので、使用しないでください。

【お手入れ方法】

- ベンジン、シンナー、石油、酸、みがき粉、タワシ、熱湯などでの清掃は、表面の仕上げを傷めますので
避けてください。特にホワイトボード面は、消去性がなくなりますのでご注意ください。
- イレーザはこまめに清掃して、常に汚れを落としておいてください。
- ボード面の汚れは、水に濡らしてかたく絞った布で拭いてください。
- 汚れが著しい場合は、10倍以上にうすめた中性洗剤で吹き落としたあと、洗剤が残らないよう、水に濡らしてかたく絞った布で拭き取ってください。さらに乾いた布で乾拭きしてください。

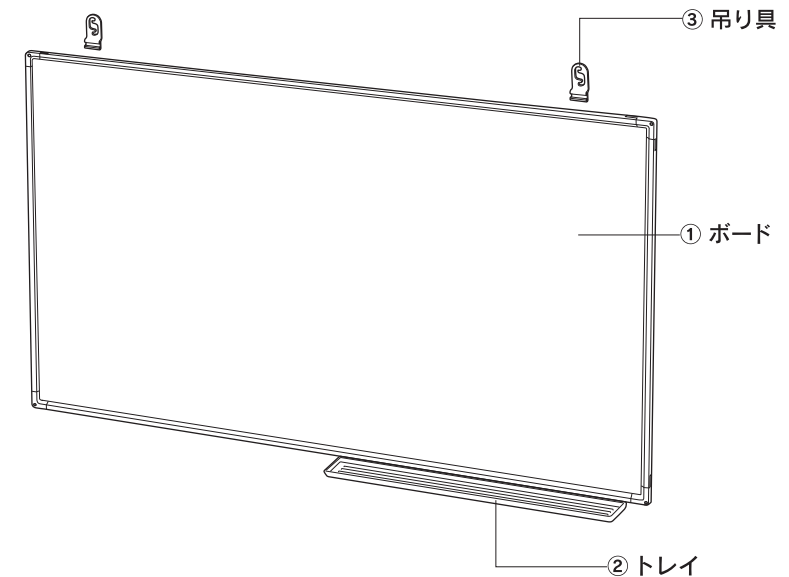
取扱説明書／組立説明書

壁掛ホワイトボード ATシリーズ

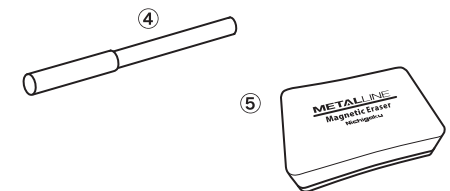
構成パーツ及び各部名称

組み立てる前に、必ず以下のパーツ・付属品があることを確認してください。

【注意】 スタンドに取り付ける場合は、スタンド組み立て説明書に準じて組み立てねがいます。



- ① ボード 1台
- ② トレイ 1個
- ③ 吊り具 2個
- ④ マーカー(黒) 1本
- ⑤ イレーザ(マグネット付) 1個



【ご注意】 この壁掛ホワイトボードには、壁面取り付け用受ネジや壁掛けフックは入っておりません。4ページの「壁面の材質による取り付け方法」を参考に、取り付ける壁面に合った受ネジやフックをあらかじめご用意ください。

各部の取り付け方法

1. トレイ

図1のようにボードを逆さまにして、トレイ裏の角穴部位4箇所(太矢印部分)を、端から順に手のひらでカチッと音がするまで、フレームの溝に確実に押し込んでください。少し堅めですので、机上などの安定した場所で作業をしてください。トレイが確実にはめ込まれたことを必ず確認してから、ボードを壁面などに取り付けてください。

2. 吊り具

図2のように、吊り具をボードの上部の溝に、少し傾けながら④⑤の順に差し込んでください。

※逆(下向き)の取り付けもできます。取付例・2

壁面への取り付け

吊り具による取り付け

1. 壁面取り付け用受ネジの取り付け

図3のように、壁面の所定の位置に取り付け用受ネジ(2本)を取り付けてください。

※この壁掛ホワイトボードには、取り付け用受ネジが入っていませんので、必ずご用意ください。

2. ボードを壁面に取り付け

吊り具を左右にスライドして、壁面の取り付け用受ネジへ吊り具の穴を確実に引っ掛けてください。図2を参照。

取り外しは、ボードを少し横(向かって右)に寄せながら持ち上げて、手前に引いて取り外してください。

吊りひもによる取り付け(付属しておりません)

図4のように、適当な長さのひも(φ3mm以下)を吊り穴に通して壁面へ取り付けすることができます。

【注意】AT-11、AT-12、AT-12SYは、吊りひもによる壁掛けは不安定なため、おやめください。

【その他の機能】

図5のように、下のコーナーパーツ穴(穴径φ3.5mm)を利用して、キーホルダーなどを下げることが出来ます。※フックなどの部材は付属しておりません。

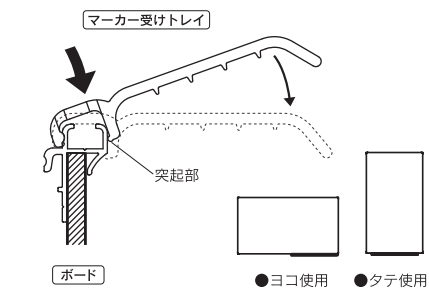


図1

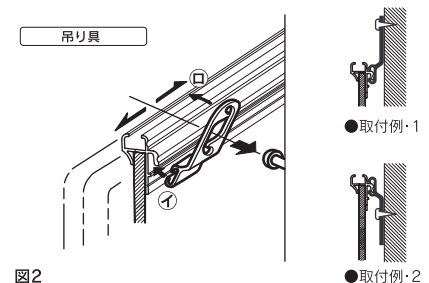


図2

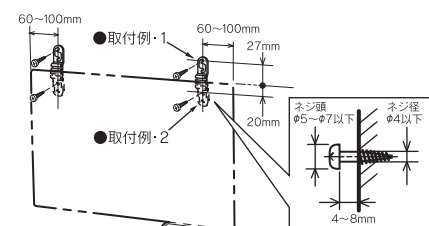


図3

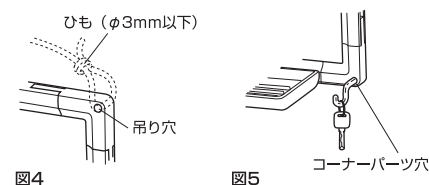


図4

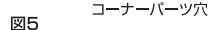


図5

【取り付け上の注意】

- 壁面の材質によって取り付け方法が違いますので、4ページの「壁面の材質による取り付け方法」をよく読んで、壁面に合った受ネジ及び取り付け方法を選定してください。
- 取り付けは、2人で行うと比較的楽にできます。

壁面の材質による取り付け方法

1. 壁面の材質を調べて、下記の表にあてはめて適合プラグ、アンカーを選定してください。
2. 選定したプラグ、アンカーをその取り付け方法に従い取り付けてください。

取付壁面の材質		適合プラグ及びアンカーの取り付け方		単位: mm																																
木製壁	●木ネジ	① キリで適当な大きさの穴をあけ、木ネジをねじ込みます。 ② ネジの頭を4~8mm出して吊金具を掛けます。																																		
	●モリーアンカー	カサが開いてガッチリ固定 ① ② ③ 適当な径のドリルを選んで孔をあける。 選んだモリーアンカーを孔に挿入してドライバーで締付けます。 ネジの締付けで、足が開いて、固定されたら、ネジを4~8mm戻して吊金具を掛けます。 <table border="1"> <caption>壁の厚さによる選定</caption> <thead> <tr> <th>呼称</th> <th>壁厚</th> <th>下孔ドリル径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4・XS</td><td>1.6 ~ 5</td><td rowspan="4">8.0</td></tr> <tr><td>4・S</td><td>6 ~ 12</td></tr> <tr><td>4・SL</td><td>12 ~ 18</td></tr> <tr><td>4・L</td><td>18 ~ 22</td></tr> <tr><td>4・XL</td><td>32 ~ 38</td><td rowspan="4">10.0</td></tr> <tr><td>6・XS</td><td>1.6 ~ 5</td></tr> <tr><td>6・MS</td><td>1.6 ~ 9.5</td></tr> <tr><td>6・S</td><td>9 ~ 16</td></tr> <tr><td>6・L</td><td>14 ~ 32</td><td rowspan="4">12.0</td></tr> <tr><td>6・XL</td><td>35 ~ 45</td></tr> <tr><td>8・S</td><td>9 ~ 16</td></tr> <tr><td>8・L</td><td>14 ~ 32</td></tr> <tr><td>8・XL</td><td>35 ~ 45</td><td></td></tr> </tbody> </table>			呼称	壁厚	下孔ドリル径	4・XS	1.6 ~ 5	8.0	4・S	6 ~ 12	4・SL	12 ~ 18	4・L	18 ~ 22	4・XL	32 ~ 38	10.0	6・XS	1.6 ~ 5	6・MS	1.6 ~ 9.5	6・S	9 ~ 16	6・L	14 ~ 32	12.0	6・XL	35 ~ 45	8・S	9 ~ 16	8・L	14 ~ 32	8・XL	35 ~ 45
呼称	壁厚	下孔ドリル径																																		
4・XS	1.6 ~ 5	8.0																																		
4・S	6 ~ 12																																			
4・SL	12 ~ 18																																			
4・L	18 ~ 22																																			
4・XL	32 ~ 38	10.0																																		
6・XS	1.6 ~ 5																																			
6・MS	1.6 ~ 9.5																																			
6・S	9 ~ 16																																			
6・L	14 ~ 32	12.0																																		
6・XL	35 ~ 45																																			
8・S	9 ~ 16																																			
8・L	14 ~ 32																																			
8・XL	35 ~ 45																																			
ベニヤ合板 プラスターボード 石膏ボード (GL工法)	●トグラ	どんな壁にも威力を発揮 ●GL工法のように中空部が狭くても取付けられます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼称</th> <th>壁厚</th> <th>下孔ドリル径</th> <th>取付ネジφ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>TA</td><td>3 ~ 5</td><td rowspan="3">8</td><td rowspan="3">3.5~6</td></tr> <tr><td>TB or TH</td><td>9~12</td></tr> <tr><td>TC</td><td>16~18</td></tr> </tbody> </table> ① ② ③ 足を折りたたんでください。 孔に差し込みピンのようなものので、中空壁内で足を開かせてください。 木ネジ又はタッピンネジの3.5~6mm径のものが使用できます。			呼称	壁厚	下孔ドリル径	取付ネジφ	TA	3 ~ 5	8	3.5~6	TB or TH	9~12	TC	16~18																				
	呼称	壁厚	下孔ドリル径	取付ネジφ																																
TA	3 ~ 5	8	3.5~6																																	
TB or TH	9~12																																			
TC	16~18																																			
コンクリート壁	●U-プラグ	① ② ③ 指定のドリルで壁に下孔をあけてください。 ネジをセットしたU-プラグを差し込みます。 ドライバーで締付けて終了です。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼称</th> <th>プラグ全長</th> <th>下孔ドリル径</th> <th>取付ネジφ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>U-5</td><td>25</td><td>5</td><td>2.6 ~ 4</td></tr> <tr><td>U-6</td><td>30</td><td>6</td><td>3.5 ~ 5</td></tr> <tr><td>U-8</td><td>40</td><td>8</td><td>4.5 ~ 6</td></tr> <tr><td>U-10</td><td>50</td><td>10</td><td>6 ~ 8</td></tr> <tr><td>U-12</td><td>60</td><td>12</td><td>8 ~ 10</td></tr> </tbody> </table>			呼称	プラグ全長	下孔ドリル径	取付ネジφ	U-5	25	5	2.6 ~ 4	U-6	30	6	3.5 ~ 5	U-8	40	8	4.5 ~ 6	U-10	50	10	6 ~ 8	U-12	60	12	8 ~ 10								
	呼称	プラグ全長	下孔ドリル径	取付ネジφ																																
U-5	25	5	2.6 ~ 4																																	
U-6	30	6	3.5 ~ 5																																	
U-8	40	8	4.5 ~ 6																																	
U-10	50	10	6 ~ 8																																	
U-12	60	12	8 ~ 10																																	
スチール壁 (パーティション等)	●十字穴付タッピンねじ(なべ頭)	① ② ③ パーティション目地部分等の壁面内部に補強があることを確認して、適当な径のドリルで孔をあけ、タッピンネジをねじ込みます。その際、ネジの頭を4~8mm出して吊金具を掛けます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>A × B (寸法)</th> <th>下孔ドリル径</th> <th>A × B (寸法)</th> <th>下孔ドリル径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3 × 13</td><td rowspan="4">2.0</td><td>4 × 20</td><td rowspan="4">3.2</td></tr> <tr><td>3 × 16</td></tr> <tr><td>3 × 20</td></tr> <tr><td>3 × 25</td></tr> <tr><td>3.5 × 13</td><td rowspan="4">3.0</td><td>4 × 40</td><td rowspan="4">4.2</td></tr> <tr><td>3.5 × 16</td></tr> <tr><td>3.5 × 20</td></tr> <tr><td>3.5 × 25</td></tr> <tr><td>3.5 × 30</td><td rowspan="4">3.2</td><td>5 × 20</td><td rowspan="4"></td></tr> <tr><td>4 × 13</td></tr> <tr><td>4 × 16</td></tr> <tr><td>5 × 50</td></tr> </tbody> </table>			A × B (寸法)	下孔ドリル径	A × B (寸法)	下孔ドリル径	3 × 13	2.0	4 × 20	3.2	3 × 16	3 × 20	3 × 25	3.5 × 13	3.0	4 × 40	4.2	3.5 × 16	3.5 × 20	3.5 × 25	3.5 × 30	3.2	5 × 20		4 × 13	4 × 16	5 × 50							
	A × B (寸法)	下孔ドリル径	A × B (寸法)	下孔ドリル径																																
3 × 13	2.0	4 × 20	3.2																																	
3 × 16																																				
3 × 20																																				
3 × 25																																				
3.5 × 13	3.0	4 × 40	4.2																																	
3.5 × 16																																				
3.5 × 20																																				
3.5 × 25																																				
3.5 × 30	3.2	5 × 20																																		
4 × 13																																				
4 × 16																																				
5 × 50																																				